

登録コード	HM137902	開講年度	2026			
授業題目	健康促進学論文演習					担当教員 島田 裕之
英文授業名	Thesis Seminar in Health Promotion Science					副担当
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 (授業の達成目標)					
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初 【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					
(2)詳細/Detailed information	高年齢者の健康増進に関する予防医学や保健学領域において、新たな知見や技術を創出するため、既存研究のレビューや研究計画書の作成、調査研究の方法、統計解析、論文執筆に至るまでの一連の過程を、演習を通じて身につける。					
(3)授業の概要/Overview of course	受講生各自の研究テーマ設定の支援を行い、既存研究のレビューを実施して研究仮説を明確化する。その後、研究計画書の作成、調査研究の方法、統計解析、論文執筆に至るまでの一連の過程を、各自の研究テーマに沿って遂行できる能力を身につける。					
(4)授業計画/Course plan	第1四半期：研究テーマの設定 第2四半期：研究計画書作成 第3四半期：調査データのまとめ 第4四半期：論文執筆 四半期に分けて演習を実施します。各四半期内に設定された課題についての資料の報告をしてもらいます。					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	提出された報告書に基づき、以下の割合で成績評価する。研究テーマの設定（1割）、研究計画書作成（3割）、調査データのまとめ（3割）、論文執筆（3割）。 成績評価の基準 提出された報告書の総合評価が90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とする。評価の視点は、(i) 仮説設定が適切であり、(ii) 仮説が検証できる計画が立案され、(iii) 適切な方法で解析ができ、(iv)論文執筆が可能かどうかを重視する。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	履修上の注意 質問や相談はメール（shimada@ncgg.go.jp）もしくは授業終了後に受け付ける。授業の形式は講義、自己学習、プレゼンテーション、討論を組み合わせた授業形式をとる。 事前・事後学習に関する情報 事前に興味ある研究課題について検討しておく必要がある。四半期毎にレポートを提出する。レポートの分量の指定はしないが、成績評価の基準の視点を満たすことが要求される。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問や相談はメール（shimada@ncgg.go.jp）もしくは授業終了後に受け付ける。					
(8)授業の形式/Course format	対面またはオンライン					